

# 祝 西海研究室 30 周年

---

2008 年度卒業

川鍋里絵

西海研究室 30 周年おめでとうございます。

私が西海研究室を志望した理由は、西海先生の授業が難しく友人とともに質問をしに行くようになったことがきっかけでした。

初めて質問に伺った際、西海先生に「また来年、再履修したら？」と言われたのがとても衝撃的でした。そんな西海先生の第一印象は『な、なんという適当な先生なのだろう』でした。

しかし、それでもめげずに質問をしに通いつめる内に、煙たがりながらもわかりやすく教えてくださり、また、それをきっかけに先生と話をする機会が増えたことで、少しずつ不思議な魅力をもつ西海先生の人柄に惹かれていきました。

そして、ゼミを決める際には研究内容もさることながら、何よりも先生の人柄に惹かれて、この西海研究室を希望しました。

卒業研究では、先輩と昼・夜と交代で実験を行い、夜通し研究室に残り研究を行いました。半日かけて行った実験が夜中に失敗した時や、思い通りに実験が進まなかった時、結果を出せない焦りや、苛立ちを度々感じました。その際、西海先生に「実験は忍耐だ。100 回実験をして、ようやく 1 回成功するくらいの心意気が必要だ」と言われました。

その言葉を糧に、幾多の失敗を経つつ、コツコツと実験を行うことで何とか結果を出すことができました。

また、西海研究室での活動は、研究だけでなく、飲み会も充実していました。その中でも特に『日野コン』では、現役生のみならず OB の先輩方も集まり、皆で和気あいあいと盛り上がり、とても楽しい時間を過ごしたのを覚えています。

このように、現役生の仲の良さや年齢の垣根を超えた OB の方々との繋がりは非常に貴重な機会であり、西海先生も積極的に学生の輪に混じり、一緒に飲み会に参加することでコミュニケーションを取っているため、とても仲が良く、雰囲気の良い西海研究室ができているのだと思います。そして、これは他の研究室にはない西海研究室のとても良いところだと思います。

西海研究室での充実した学生生活を終え、現在私は社会人一年目、自動車メーカーの実験部門で働いています。新しい発見や知識を得る喜びがあり、今は毎日がとても充実して

います。

その反面、学部時代とは全くちがう畑に飛び込み、専門の勉強をしてきた同期との知識の差に対する焦りや、すぐに会得できない自分に対する苛立ちを感じながら、日々悪戦苦闘しています。

しかし、学生時代に実験を行っていく上で培った忍耐力や問題を解決するためのアプローチ、また、学ぶことへの好奇心や情熱という課題に対する姿勢を忘れずに乗り越えていきたいと思います。

西海研究室で過ごした一年半はあっという間でしたが、研究や飲み会等とても楽しく充実した時間を過ごすことができました。西海先生を始め、研究室の皆様、本当にありがとうございました。

最後になりましたが、西海先生、今後も若いパワーに負けず頑張ってください。私も、一人前のエンジニアになるため日々精進していきたいと思います。

話は長くなりましたが、最後に一言だけ…

## 西海先生、大好きです♪



平成 20 年度 物質化学科謝恩会にて